

第5学年 国語科学習指導案

平成27年1月28日（水） 4校時

- 1 単元名 「物語を読んで自分の考えをまとめよう」
教材名 「わらぐつの中の神様」

2 単元の目標

- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、広げたり深めたりすることができる。
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○心に残る言葉、文章、情景や、全体の構成を楽しんで読もうとしている。	○会話や心情表現、行動を表す語や文に注目し、登場人物同士の関係、人物像、場所、時、背景などを読み取っている。 ○「構成」「人物像」「表現」などの観点からほかの作品との共通点や相違点を考えながら読んでいる。	○文章に様々な構成があることを知り、その効果について意識している。

4 単元について

（1） 単元設定の理由

「注文の多い料理店」では、山猫の表現の巧みさを中心に読み取りを行った。また、物語を通して筆者が読み手に伝えたいことについて考えることを通して読みを深めた。「大造じいさんとガン」では、登場人物の心情を中心に読み取り、叙述に目を向け、言葉に注目することで読みを深めた。本教材は、物語の構成や登場人物の心情の変化、わらぐつに関連させた人柄の描き方や色・音の効果的な使われ方などの特色がある。これまで学んだ他の物語と比較しながら作品に対する自分の考えを書くことで読みが深まることを期待したい。

（2） 教材文について

わらぐつの中の神様は、「現在―過去―現在」という構造の作品であり、時間の行き来や、それに伴う場面の飛躍的な転換があるなど、これまでに児童が学習してきた物語とはひと味違ったおもしろさがある。その効果は、第一場面（現在）と第二場面（過去）それぞれでの人物とその関係が、第三場面（現在）で重なり、驚きを生むところにも表れている。

会話や行動から人物の性格やものの見方・考え方をつかみやすく、それは作品のテーマに関わって、児童の心にまっすぐに向かってくる。人物の心情や情景を豊かに想像させ、題名でもある「わらぐつの中の神様」の意味を考えさせたい。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

（1） 4つの思考の型を取り入れた学習活動

(2) 物語文を読む10の観点の活用

(3) ワークシートの活用

場面ごとに本文の入ったワークシートを作成し、登場人物の心情が読み取れる箇所などにサイドラインを引き、自分の考えを書き込ませる。

(4) 学習形態の工夫（小グループでの話し合い）

自分の考えをワークシートに書き込む時間とクラス全体での話し合いの時間の間に、「小グループでの話し合い」の時間を入れ、全員が自分の考えを伝える場を設定する。これにより、自分の考えを「話す」機会が全員保証される。自分の考えが相手に伝わるように、言葉を選び、考えながら話すことを通して、自身の思考の深まりにもつながると考える。

6 学習指導計画（全7時間）

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	・題名から想像したことを発表する。 ・教師の範読を聞く。 ・感想を書いて発表する。	【関】初発の感想をもち、学習の見通しをもととしている。 (発表・ワークシート)
	2	物語の設定、人物、事件を読み取る	・物語を10の観点でまとめる。 ・「現在―過去―現在」の構成から、物語を3つに分ける。	【読】物語の設定、人物、事件を読み取れている。 (発表・ワークシート)
2	3	第一場面を読み、マサエとおばあちゃんの考え方の違いを比較する。	マサエの人柄を読み取ろう（第一課題） ・マサエの人柄が表れているところにサイドラインを引く。【選択】【類推】 マサエとおばあちゃんの考え方の違いを比べよう（第二課題） ・マサエ、おばあちゃんそれぞれの考え方が表れているところにサイドラインを引く。【比較】	【読】登場人物の心情や人柄を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	4 (本時)	第二場面前半を読み、おみつさんの人柄を読み取る。	おみつさんの人柄を読み取ろう（第一課題） ・おみつさんの人柄を考える。【類推】 作ったわらぐつに表れているおみつさんの人柄を読み取ろう（第二課題） ・おみつさんの人柄が「わらぐつ」を通して描かれているところに線を引く。【選択】【関係づけ】	【読】わらぐつがおみつさんの人柄を表していることを読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
	5	第二場面後半を読み、大工さんの仕事に対する考え方や人柄について考え、おみつさんと大工さんの心の通い合いを読み取る。	大工さんの人柄を読み取ろう（第一課題） ・大工さんの人柄表れているところにサイドラインを引く。【選択】【類推】 おみつさんの大工さんへの気持ちが大きく変わったのはどこか読み取ろう（第二課題） ・おみつさんの大工さんへの気持ちがわかるところにサイドラインを引く。【選択】【比較】	

	6	第三場面を読み、マサエの変容を読み取る。	マサエの心情を第一場面と比べながら読み取ろう (第一課題) - 第一場面と比較しながら、マサエのわらぐつや神様への見方、おばあちゃんへの気持ちが表れているところにサイドラインを引く。【選択】【比較】 言い回しに着目し、マサエの心情の変化を読み取ろう (第二課題) - マサエの言い回しの変化が分かれるところにサイドラインを引く。【選択】【比較】	【関】第一場面と比較しながらマサエの心情の変化を読み取るうとしている。 (発表・ワークシート) 【読】マサエの心情の変化を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)
3	7	「わらぐつの中の神様」の特色について、自分が考えたことをまとめる。	次の観点で自分の考えをまとめる。 - 物語の構成 - 人物の行動や会話、性格 - 使われている言葉や表現	【書】物語の特色について自分の考えをもち文章に書くことができる。 (ワークシート)

7 本時の指導（4／7時）

（1）本時の目標

- ・わらぐつの様子に着目し、おみつさんの人柄を読み取ることができる。

（2）展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入展開	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の課題を知る。	○ここから、おばあちゃんの思い出話（「過去」）になっていることをおさえる。	
	おみつさんの人柄を読み取ろう（第一課題）		
	3 第二場面前半を音読する。 4 おみつさんの人柄を読み取る。【類推】 ・がんばり屋さん、一生懸命 ・思いやりがある ・まじめ		【関】おみつさんの人柄を読み取ろうとしている。（発表）
	作ったわらぐつに表れているおみつさんの人柄を読み取ろう（第二課題）		
	5 おみつさんが作ったわらぐつの様子が書かれているところにサイドラインを引き、そこからおみつさんの人柄を読み取る。 【選択】【関係づけ】 ・変な格好、大きさもちがう →外見（見た目）を気にしない人 ・上からつま先まですき間なく、きっちり と編みこまれている →まじめ、きちょうめんな性格の人	○わらぐつの様子に着目させ、そこから相手のことを思って作っているおみつさんの人柄を読み取らせる。 ○わらぐつ＝おみつさんそのものであることに気づかせる。	【読】わらぐつの様子からおみつさんの人柄を読み取ることができる。（発表・ワークシート）

	・じょうぶなことは、このうえなし →外見より中身を大事にする人 6 小グループで、自分の考えを伝え合う。 7 全体で話し合う。	○小グループで、全員が自分の考えを伝え合わせる。 ○全体の発表では、小グループの話し合いを受けて、友達のことを発表してもよい。	【関】 わらぐつの様子からおみつさんの人柄を読み取ろうとしている。(発表・ワークシート)
まとめ	8 本時のふり返しをする	○そんなおみつさんはどう思ったか、自分の考えを加えさせる。	